

平成 3 0 年 度

健康福祉サービス自己評価結果報告書

報告書の内容

添付書類	添付した書類に○を記入
チェック済評価基準	○
評 価 基 準 概 評	○
サービス改善計画	○

施設・事業所名： きらり庵（放課後等デイサービス）

健康福祉サービス自己評価実施状況報告書

平成 31 年 4 月 24 日

滋賀県健康医療福祉部障害福祉課長 あて

(所在地) 滋賀県東近江市上中野町 397
(施設・事業所名) きらり庵 放課後等デイサービス
(代表者職・氏名) 管理者 坂本 茜

健康福祉サービス自己評価を、「本県における健康福祉サービス評価システムの推進について」により実施しましたので、下記のとおり報告します。

記

1 施設・事業所の名称

きらり庵

2 評価基準およびサービスの種別（該当の記号に○印を付し、サービスの種別を記入）

○評価基準

ア 障害福祉サービス共通評価基準①〔障害者／施設、グループホーム〕

（種別： ）

イ 障害福祉サービス共通評価基準②〔障害者（児）／在宅〕

（種別： ）

ウ ☒ 放課後等デイサービス自己評価表

エ 児童発達支援自己評価表

オ その他の評価基準 （具体的に： ）

※種 別（記入例：就労継続支援B型）

3 自己評価の実施時期（自己評価結果をとりまとめた時期）

平成 31 年 4 月

4 県のホームページで、自己評価を実施した施設・事業所の名称、所在地、実施時期、事業所での評価結果の公表の有無を情報提供することについて

☒ 提供してもよい ・ ☐ 提供しないでほしい

5 自己評価結果の公表の有無（該当するところを○で囲む）

- | | | | |
|-----------------|-------------------------------------|---|---------------------------|
| ①市町への送付 | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ③県庁障害福祉課への送付 | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ⑤インターネットのホームページ | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に： _____ ）

6 サービス改善計画の公表の有無（該当するところを○で囲み、括弧内に記入）

- | | | | |
|-----------------|-------------------------------------|---|---------------------------|
| ①市町への送付 | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ②滋賀県健康福祉事務所への送付 | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ③県庁障害福祉課への送付 | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ④施設・事業所内での閲覧提供 | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ⑤インターネットのホームページ | ☒ した | ・ | ☐ しない |
| ⑥その他の方法での公表 | | | |

（具体的に： _____ ）

7 自己評価を実施して感じたこと、評価基準・ガイドライン等への意見やサービス評価について今後望むこと

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31 年 4 月 25 日

事業所名 きらり庵

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		屋外活動を取り入れる等、場所を分けている	活動場所の広さを前提とした受入人数の調整を今後行う
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	業務分掌を複数職員で担当することで、業務全体の理解が進むように心がけている。	職員会議において、職場の課題について話し合う機会を設ける
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		自主的な研修を促すため、研修情報をその都度提供している。	計画的な内部研修の検討が必要
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		標準化されてアセスメントツールを導入したい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	ご家族から詳しく聴き取りをしている。	今のところ、対象児はてんかん発作への対応にとどまっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		発達支援センターとの連携がうまくゆかない。療育相談だけが自らの業務であるかのようなセンター側の偏った課題意識を感じる。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	△			必要と判断した児童については助言をお願いしている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		進路部会等に参画している	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	△			年1～2回、保護者会で勉強会を行っている
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に説明を実施している 保護者会に必要なに応じて報告・説明をおこなっている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			年2回の保護者会を実施し保護者間の交流の場を設けている
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			活動概要、行事予定は月1回お知らせしている
	35	個人情報に十分注意している	○			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		法人全体の危機対応に連動する形で、今後検討を行う
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	△			火災訓練のみ3ヵ月に1回 地震は未実施
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している				該当事例無し
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている				該当事例無し
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31 年 4 月 25 日

事業所名 きらり庵 保護者等数(児童数) 27 回収数 19 割合 70.3 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	5	10	3		子どもが増えてスペースが狭く感じる	引き続き場所の確保を模索する
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	5				職員の確保と資質向上は必須
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	1				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>放課後等デイサービス計画*1</u> が作成されているか	17	2				
	5	<u>活動プログラム*2</u> が固定化しないよう工夫されているか	17	2			いつも楽しみにしている	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	7	10			
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	2				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1			いつも伝えてもらっている	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17		2			
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	16	2	1			
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	16	3				
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	8	1			ホームページの存在を知られていない可能性がある。周知に努める。
非常時 等の 対応	14	個人情報に十分注意しているか	17	2				
	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	7	1			法人全体の危機対応策の検討に並行して明文化を図る
満足 度	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	11				
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	17	2			いつも楽しく通所しています	
	18	事業所の支援に満足しているか	18	1			いろいろなことを考えて下さり感謝しています	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

障害福祉サービス共通評価基準 概評 〔各シート共通〕

○概 評

①非該当とした項目の説明、②独自に必要なと思われる評価項目等、③項目評価を通じて気づいた点などを記入してください。

臨床心理技術職を配置していないため、発達検査等を行えていない。発達段階に見合った活動・支援を行う上で、何らかの標準化されたアセスメントツールは必要なため、検討してゆきたい。

県発達支援センターとの連携を強化し、ご家庭での対応方法なども含めた成長発達のための関わり方を職員全体が学んでゆくことが必要。

地域との関わり方が難しい。自治会行事などへの関わりなど、今後検討してゆきたい。

○サービスの質の向上に向けて取り組む課題

前回までの評価において、サービスの質の向上に向け取り組む課題を設定している場合はその内容と進捗状況を、また、新たに今回の評価によって今後取り組むべき課題がある場合も、その内容を記入してください。

[illegible]

サービス改善計画書

策定日：平成31年4月

事業・サービス名： 放課後等デイサービス

施設・事業所名： きらり庵

自己評価項目	評価結果	問題点・課題	改善内容と目標	時期と期間	責 任 者	備 考 (必要な予算等)
非常時の対応 38	どちらとも言えない	防災マニュアル等が未策定	防犯マニュアル策定の検討を行う。 感染症対策については、感染の拡大を防ぐ方策について、実施する中でさらに検	令和元年	水野 仲本	
非常時の対応 39	どちらとも言えない	火災に対する避難訓練しか実施されていない	避難訓練の実施を定常化し、その内容が偏らないように検討、工夫する	令和元年	水野 仲本	